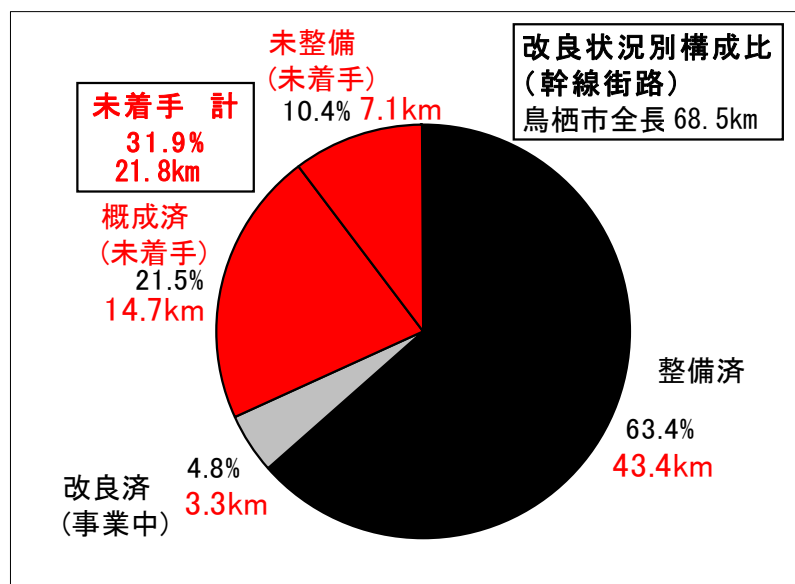


■鳥栖市都市計画道路の現状と課題

●都市計画道路の整備状況

鳥栖市の都市計画道路の整備状況としては約6割が整備済みとなっており、全国平均である約5割を上回っているものの、約1／3は未着手区間となっています。



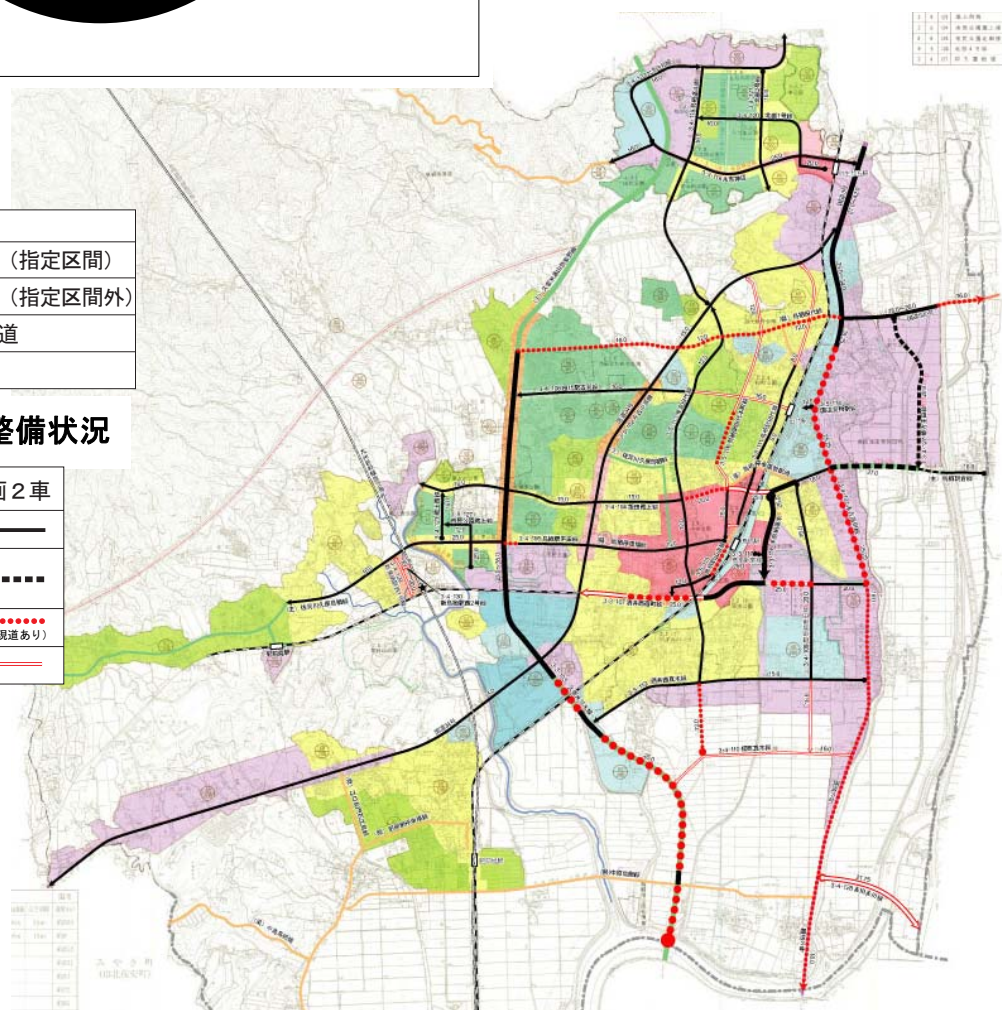
整備済…都市計画決定された幅員どおりに整備されたもの
改良済…用地買収が完了し暫定供用(車道が完成)しているもの
概成済…現道が片側一車線確保されているもの
未整備…現道がないもの

▼幹線道路

4車	2車	
		一般国道（指定区間）
		一般国道（指定区間外）
		主要地方道
		一般県道

▼都市計画道路の整備状況

	計画4車	計画2車
整備済		
事業中(改良済)		
未着手		
概成		
未整備		

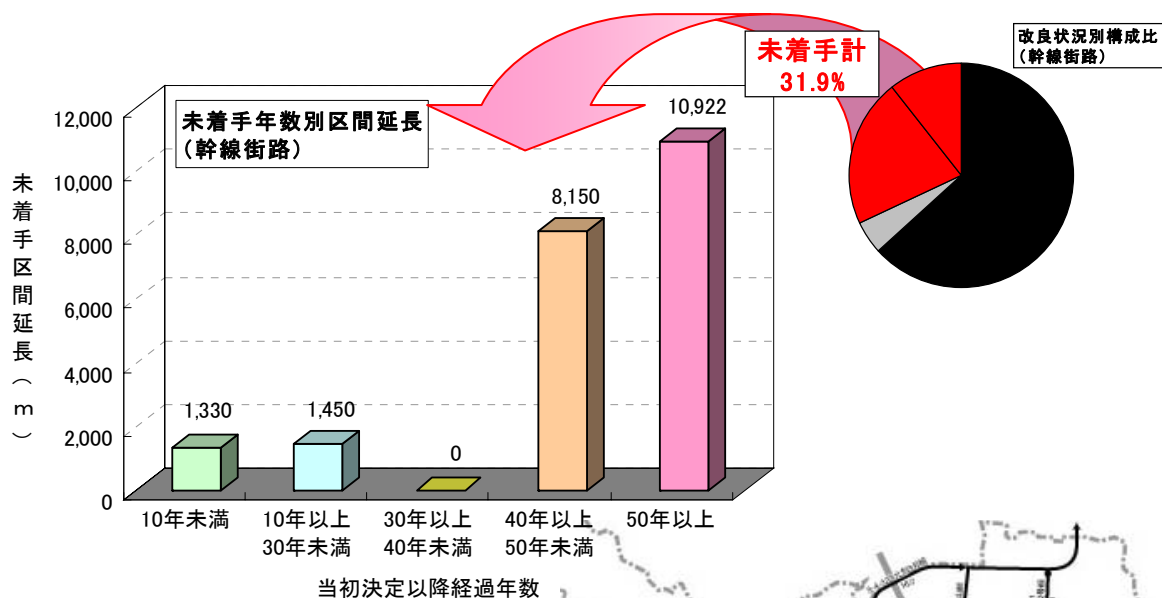


（平成20年3月31日現在）

●都市計画道路の変遷

鳥栖市の未着手区間における当初決定からの経過年数をみると、40年以上経過しているものが非常に多い状況となっています。

近年は事業目処を意識した都市計画決定が行われていることもあり、古くに都市計画決定された路線の事業が進まない現状となっています。

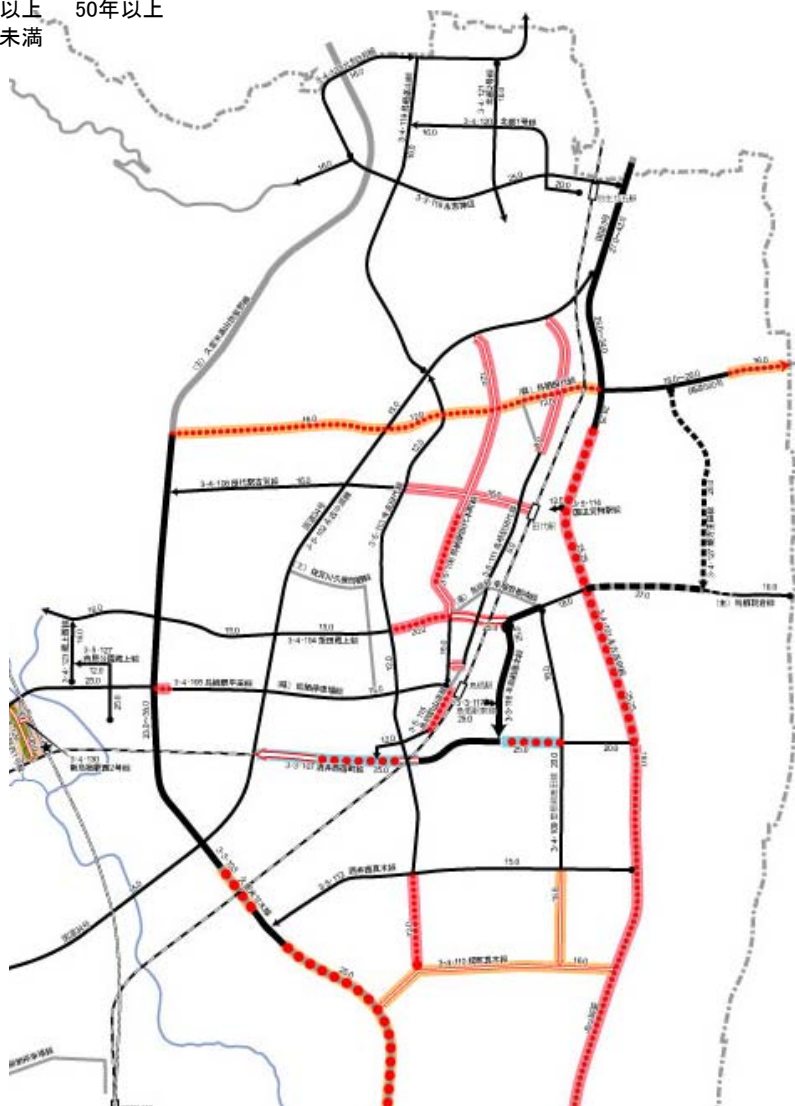


▼都市計画道路の整備状況

	計画4車	計画2車
整備済	———	———
事業中 (改良済)	■■■■■	■■■■■
概成	●●●●● (2,4)	●●●●● (2車現道あり)
未着手 未整備	===== (2車現道あり)	===== (2車現道あり)

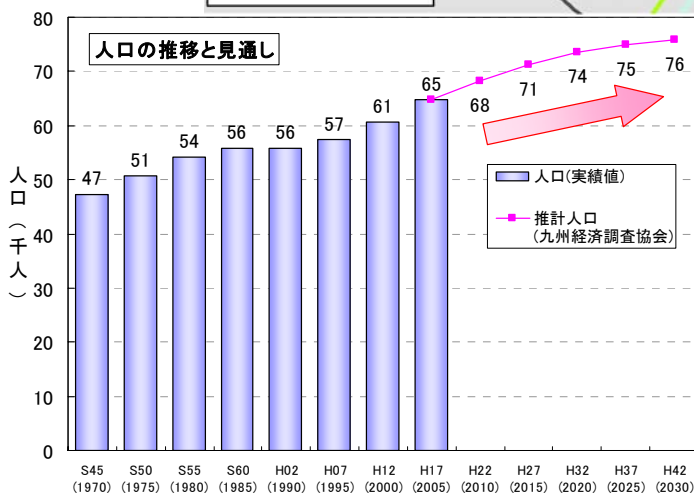
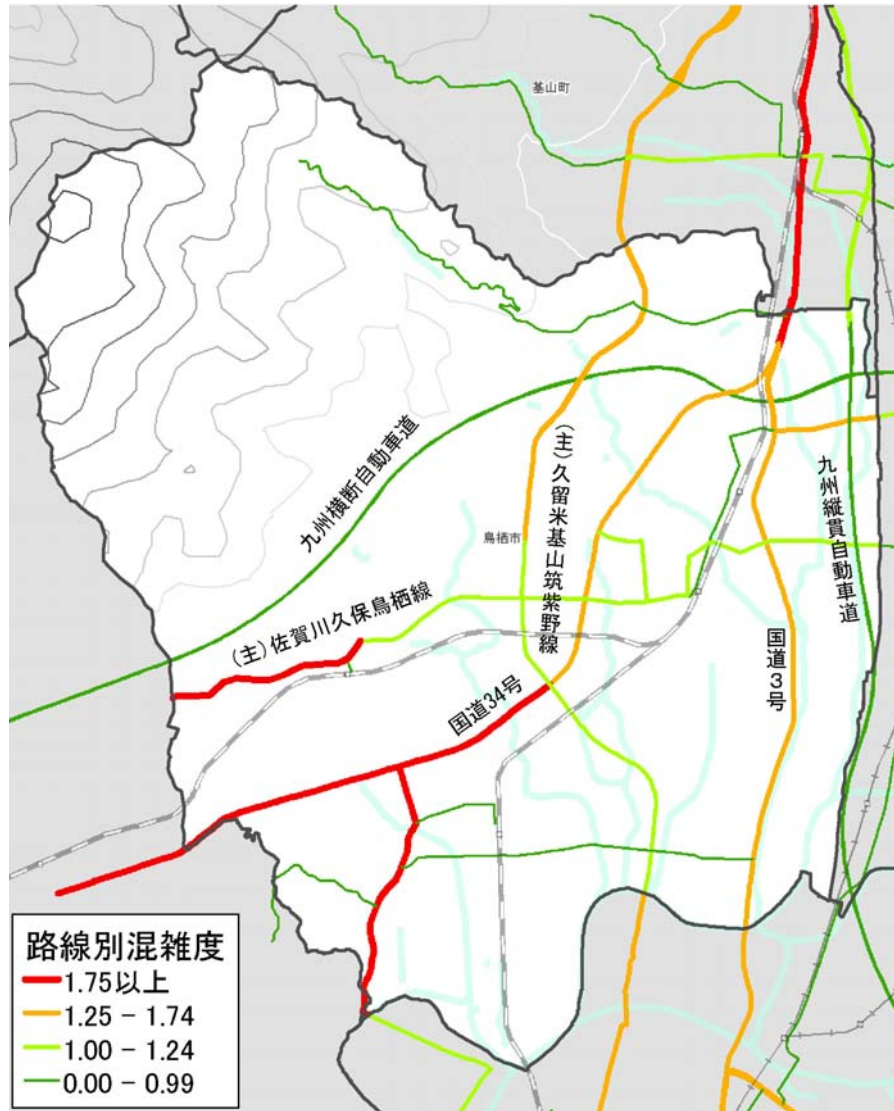
▼路線別未着手年数

■	10年未満
■	30年未満
■	40年未満
■	50年未満
■	50年以上



●想定される交通需要の増加

鳥栖市では、国道や主要な県道を中心に、自動車の交通混雑が解消できていない状況です。また、鳥栖市の人口は増加を続けており、交通需要も増加する見通しであり、幹線道路の整備は重要な課題となっています。

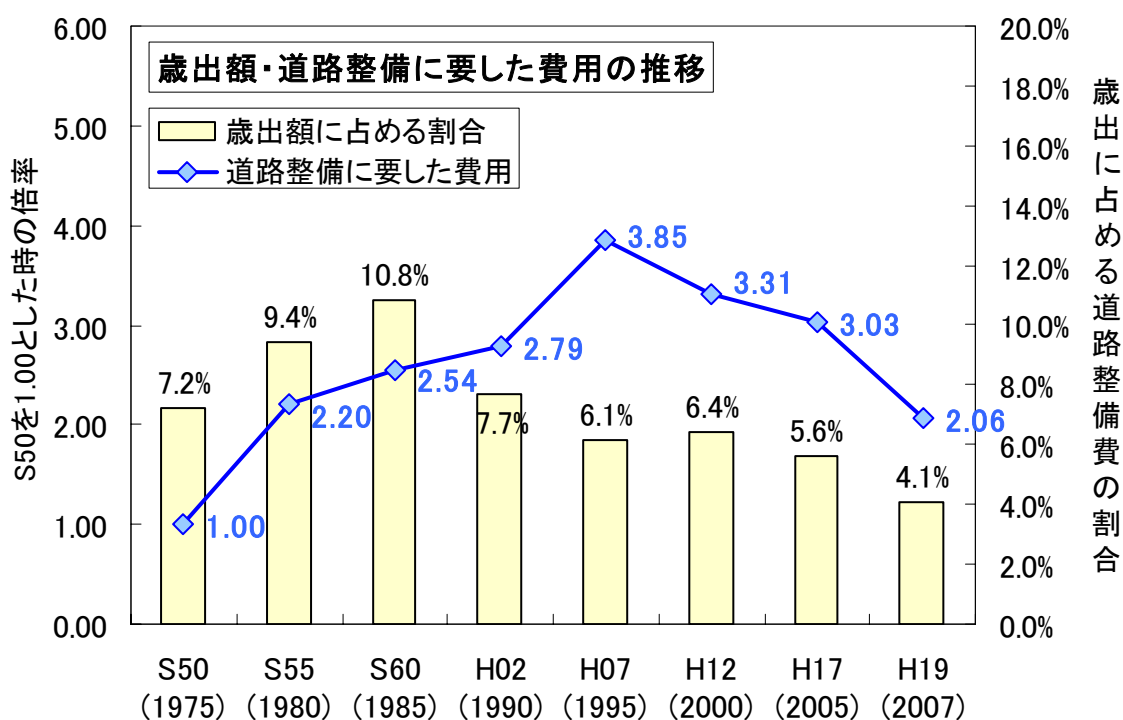


混雑度	交通状況の推定
1.75 以上	慢性的に混雑する状態。
1.25～1.75	日中に連続的に混雑する状態。
1.0～1.25	何時間も混雑が連続するという可能性は非常に小さい状態。
1.0 未満	道路が混雑することがなく、円滑に走行できる。渋滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどない状態。

●道路整備費用の現状と今後の見通し

限られた財源の中で、費用対効果を検討し、より一層の公共事業の必要性に対する説明責任や効率性の確保、重点化が求められています。

本市における道路整備予算は全国的な傾向と同じく、平成7年以降縮減傾向となっています。近年の整備実績でみますと、市施工分の未着手路線（12km）を整備するだけでも、約50年の歳月が必要と考えられ、特定路線への投資の集中を考慮すると、優先度の低い路線は相当長期間、建築制限がかかることになります。



●見直しの背景と必要性（まとめ）

- 総延長の約 1 / 3 が未着手区間
- うち 50 年以上経過区間が概ね半分を占め、今後も増加する可能性
- 社会情勢の変化により、計画決定根拠が変化している路線も存在する可能性
- 交通需要は増加見通しで、幹線街路の整備は重要な課題
- 現状でも道路整備予算が減少しており、既定の計画通り整備できない可能性が増大
- 計画区域内の土地に規制がかかり続け、土地利用計画が立てづらい状況が継続する可能性



社会情勢変化を踏まえて将来的な必要性・実現性を検討し、計画を見直す必要がある